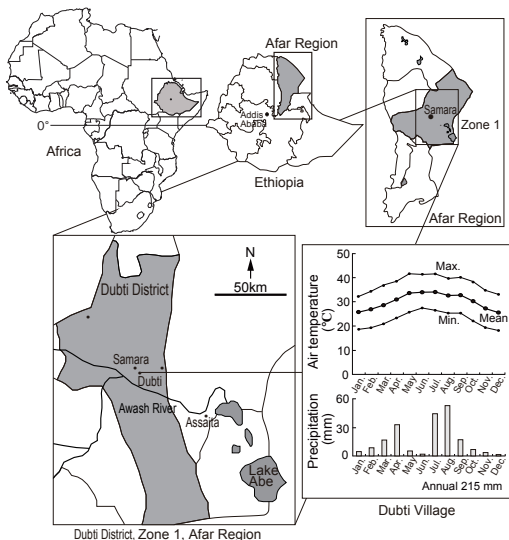


早魃と市場経済化の中で揺れ動くアフール牧畜民

Reference: HIRATA and ONIKI (2022) [Transformation of Afar pastoralism with climate change and a market economy](#), JAALS 32 (1): 1-13

対象とした地域：エチオピア北東部のアフール州第1地区 Dubti 郡



アフール牧畜民の住まいと家畜（ラクダ）



エチオピア東部の低地では、近年、早魃により乾燥化が進んでいる

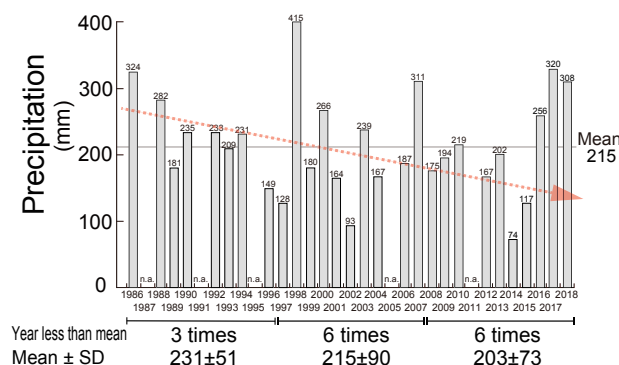


Kemedi nufie(コムギパン) siro (マメペースト) を食べるアフール牧畜民の男性。コムギを食べるのは近年のこと、援助物資と市場経済化の影響である

野生草本植物などの飼料資源が減少したため、補助飼料を給与する



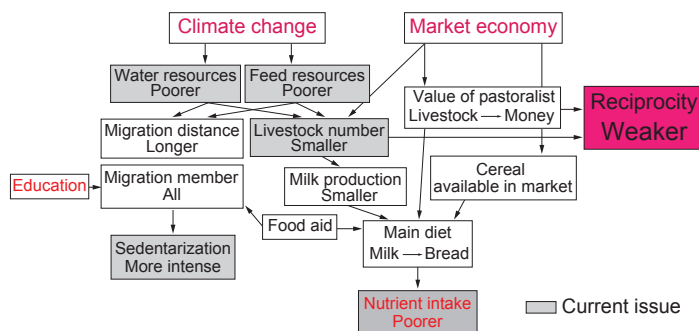
近年の早魃の傾向



ウシからの搾乳。アワシ川沿いの農耕地帯に移住・定住化したアフール牧畜民



早魃と市場経済化が進み、アフールの互助性は脆弱化している。コムギにより依存するようになり、栄養摂取の低下を招いている。



2022 年 秋季シンポジウム 遊牧を考える—過去・現在・未来開催のご案内

日本沙漠学会 2022 年 秋季シンポジウム 遊牧を考える—過去・現在・未来

遊動と牧畜が結びついた生業、数千年にわたる辺境地の生活、広く薄い草原利用、それが遊牧。各界のスペシャリストが、皆さんとともに遊牧の過去・現在・未来を俯瞰することで、その起源・原理・持続性に迫る。「遊牧の行く先はどこか、持続的遊牧は可能なのか」、いま問いかける。

(Web 案内ページ: www.jaals.net/ 大会 - シンポジウム /2022- 大会 - シンポジウム /2022 秋季シンポジウム /)

日時: 2022 年 10 月 15 日 (土) 13:00~17:00

場所: オンライン・対面のハイブリッド

【対面開催会場】レクターレ湯河原 (アクセス)

〒259-0313 神奈川県足柄下郡湯河原町鍛冶屋 572-1

タイトル: 遊牧を考える—過去・現在・未来

プログラム

13:00~13:05 開会挨拶: 森尾貴広 (日本沙漠学会 会長 / 筑波大学 教授)

13:05~13:10 開会挨拶: Bakyei, A. (モンゴル生命科学大学 教授)

13:10~13:20 趣旨説明: 篠田雅人 (名古屋大学 教授)

過去セッション 司会: 上村 明 (東京外語大学 研究員)

13:20~13:40 考古学から考える: 白石典之 (新潟大学 教授)

13:40~14:00 近現代史から考える: 尾崎孝宏 (鹿児島大学 教授)

14:00~14:10 質疑応答

(休憩)

現在セッション 司会: 吉原 佑 (三重大学 准教授)

14:20~14:40 エージェントモデルで考える: 宮坂隆文 (名古屋大学 講師)

14:40~15:00 野生動物の遊動から考える: 伊藤健彦 (麻布大学 客員教授)

15:00~15:10 質疑応答

(休憩)

未来セッション 司会: 鬼木俊次 (国際農林水産業研究センター 主任研究員)

15:20~15:40 気候の将来予測から考える: 立入 郁 (海洋研究開発機構 グループリーダー)

15:40~16:00 国際情勢から考える: 小宮山博 (名古屋大学 客員教授)

16:00~16:10 質疑応答

16:10~16:55 総合討論 (モデレーター: 篠田雅人, 各セッションまとめ: 司会者)

16:55~17:00 閉会挨拶: 鈴木伸治 (日本沙漠学会 副会長 / 東京農業大学 教授)

主催: 日本沙漠学会

後援: 科研費・基盤研究 (A)「多重時空間エージェントモデルが拓く遊牧の科学」, 国際共同研究強化 (B)「気候・社会変動適応のためのモンゴル遊牧ビジョン 2050」, 名古屋大学環境学研究科・地球規模課題 3「生態系サービスとランドスケープ」

問い合わせ先: シンポジウム実行委員 (甲野耀登)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院 環境学研究科

TEL: 052-788-6045, E-mail: kloempo (a) gmail.com ※ (a) を @ に変更してください。

乾燥地農学分科会講演会のご案内

日本沙漠学会乾燥地農学分科会会長
石川 祐一

乾燥地農学分科会では、下記のとおり講演会を開催いたします。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 主催：日本沙漠学会乾燥地農学分科会
- 日時：2022 年 11 月 9 日（水曜日）13：30～17：00（受付 13：00～）
- 開催方法：対面式（オンラインはありません）
- 開催場所：東京都北区赤羽会館講堂
〒115-0044 東京都北区赤羽南 1 丁目 13-1 TEL：03-3901-8121, FAX：03-3902-4226
- 参加費：無料（ただし、資料代 1,000 円）
- 開催趣旨：

日本沙漠学会乾燥地農学分科会では、毎年乾燥地農学に関する講演会を開催しています。

今年度の講演会では、資源高騰と戦乱を背景とした食糧価格の世界的な上昇リスクを踏まえ、乾燥地および日本の食糧生産・消費活動の課題とこれからについて論じる機会にしたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしております。

「乾燥地と日本の食糧：供給源の構造変化にどう対応するか？」

講演会次第（予定）

- | | | |
|---------|---------|---|
| ★ 13：00 | － 受付 | |
| ★ 13：30 | － 13：40 | 開会の辞 田中 徹（日本沙漠学会副会長） |
| ★ 13：40 | － 14：10 | 講師 吉橋 忠（国際農林水産業研究センター プロジェクトリーダー） |
| ★ 14：10 | － 14：40 | 講師 齋賀大昌（農林水産省みどりの食料システム戦略グループ 調整官） |
| ★ 14：50 | － 15：20 | 講師 羽賀清典（畜産環境整備機構 顧問） |
| ★ 15：20 | － 15：50 | 講師 佐伯真魚（日本大学生物資源科学部 教授） |
| ★ 16：00 | － 16：30 | 全体討論
モデレーター 石川祐一（乾燥地農学分科会会長）
パネラー 吉橋 忠、齋賀大昌、羽賀清典、佐伯真魚 |
| ★ 16:30 | － 16：40 | 閉会の辞 平賀義彦（乾燥地農学分科会副会長） |

※ 14：40－14：50 ブレイクタイム

●参加費 無料（ただし、資料代 1,000 円）

学会ウェブサイトもしくは電子メールから、①氏名、② TEL、③ E-mail、④所属をご記入の上、事務局宛にお送りください。

[申込先] 事務局：（担当：藤巻）

E-mail cadal_jaals@kyouritsu-online.co.jp

【URL】 <http://www.jaals.net/>

The DT XV International Conference on Arid Land 3-6 June 2023 JORDAN 開催のお知らせ（第二報）

Desert Technology 15 conference, Jordan, Dead Sea, 3-6 June 2023

案内 Web ページ : <https://www.jaals.net/conferences/2023-conferences/>

2023 年 6 月 3 日から 6 月 6 日まで、ヨルダンにおいて Desert Technology (DT) XV International Conference on Arid Land が開催されます。

この会議は世界の沙漠研究者が定期的に集まり、研究成果を共有するものです。発表論文は査読付き論文として学会誌「沙漠研究 (Journal of Arid Land Studies)」の特別号に掲載されます。

会員の皆様におかれましては、ふるってご参加、口頭あるいはポスターでのご発表のほどよろしくお願い申し上げます。

参加方法

- ・添付の Registration Form にご記入の上、2023 年 1 月 20 日までに DT15amman@gmail.com まで電子メールにてお送り下さい。

- ・参加費は以下の通りです。

Full Package (発表者用, 参加費, 宿泊, 食費, 空港送迎込み) 1000 USD

Participant, No publication (非発表者用, 参加費, 宿泊, 食費, 空港送迎込み) 800 USD

振込先: 三菱 UFJ 銀行 新富町支店 普通預金 749-0146874 口座名義 DT ICAL ニホンサバクガッカイ までお振り込み下さい。

発表申込方法

- ・添付の書式に従って、発表要旨 (発表者名・所属, キーワード) 部分を 2022 年 10 月 14 日までに DT15amman@gmail.com まで電子メールにてお送り下さい。発表の採否は実行委員会から 11 月 11 日にお知らせいたします。

- ・発表が採択された場合は、同じ書式を用いて発表論文を 2023 年 5 月 5 日までに DT15amman@gmail.com まで電子メールにてお送り下さい。

- ・ポスターでのご発表の場合は、添付の Poster template に従ってポスターを作成して下さい。

Tentative Program

3 June: Transportation to Hotel/ Welcome reception at Hotel

4 June: Opening session/ Inauguration/ Academic Sessions

5 June: Academic Sessions at Conference hall/ Gala dinner at Hotel

6 June: Academic Sessions/ Trip to Al Walla Dam/ end of Conference

7-8 June: optional trips to Wadi Rum and Petra or Jerash and Umm Qais

Abstract Submission

One-page abstract: Friday, 14 October 2022

Acceptance notification: Friday, 11 November 2022

Registration deadline: Friday, 20 January 2023

Manuscript submission (extended Abstract) : Friday,
5 May 2023

All materials: send to **DT15amman@gmail.com**

Abstracts will be published in a Proceedings.

The papers presented in the conference will be
published in The Journal of Arid Land Studies after
critical peer review process.

Registration Form:

https://justedujo-my.sharepoint.com/:w:/g/personal/majed_just_edu_jo/EVg_oJfcw2pGhuH0VyKmUR8BVg2ic8cEhEAjJgbAVcfBFQ?rtime=Fx1rXjin2kg

Extended Abstract Format:

https://ctjustedujo-my.sharepoint.com/:w:/g/personal/majed_just_edu_jo/EdzchIcCQqVNgOwdZXQ46ZQBDhCuGuo1pAnsEE3gPokiGg?e=Qn1grl

Poster Template:

https://justedujo-my.sharepoint.com/:p:/g/personal/majed_just_edu_jo/EeBub4T658RLtaRhTTcNb3IBHZmFV3nciExuqETSNdPVhw?e=oWHkFV

Organizing Committee

Prof. Majed Abu-Zreig, Chair

Prof. Khaled Shawaqfeh/Jordan

Prof. Khaldoun Bani Hani/Saudi Arabia

Prof. Amjed Zraiqtat/Jordan

Prof. Mutawakil Obeidat

Dr. Laith Al Rousan/Jordan

Dr. Rami Alkhatib

Mr Moath Alenizi/Jordan

Discover Jordan!

Jordan is one of the most attractive places for tourists in the region, The rose city of Petra, the Dead Sea and Wadi Run are among the most important tourist destinations. Post conference optional tours will be arranged for participants to those places.



*The organizing committee is looking forward to
welcoming you in Jordan*

日本沙漠学会 2023 年 第 34 回学術大会開催のお知らせ（第一報）

1. 大会予定概要

【日時候補日】2023 年 5 月 27-28 日（土-日）

【会場】ホテルメリージュ 大ホール 鳳凰（27 日 公開シンポジウム & 学術大会）

<https://www.merieges.co.jp/>

宮崎大学キャンパス 330 記念交流会館（28 日 学術大会）／

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/access/kibana/>

<https://www.of.miyazaki-u.ac.jp/330anniv/330hall/shiryou/sisetupanfu.pdf>

【公開シンポジウム】宮崎から見る世界の農業・防災・エネルギー

西岡賢祐（太陽光）

川崎典子（防災教育）

多炭雅博（農業気象）

【エクスカーショーン】青島－堀切峠－鵜戸神宮

2. 研究発表申し込み

【発表申込 Web ページ】

<https://www.jaals.net/> 大会 - シンポジウム / 2023- 大会 - シンポジウム / 第 34 回大会発表申込 /

発表申し込み締め切り：2023 年 2 月 25 日（土）

要旨締め切り：2023 年 3 月 25 日（土）

【口頭発表】オンサイト会場での口頭発表

【ポスター発表】

オンサイト会場でのポスター掲載

発表形式は口頭もしくはポスターのいずれかとします。

3. 参加申し込み（総会出欠確認）

【参加申込】後日お知らせいたします

4. 事務局

第 34 回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1 丁目 1 番地

宮崎大学工学部 工学科 土木環境工学プログラム 教授 入江光輝 [委員長]

TEL：0985-58-7341

E-mail：jaals2023@gmail.com

詳細はホームページ <https://www.jaals.net/> をご覧ください。

会告

2022 年 10 月 8 日

日本沙漠学会 正・名誉会員 各位

日本沙漠学会選挙管理委員会

委員長 島田 沢彦

謹啓

時下、日本沙漠学会正・名誉会員におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、次年度 2023 年度は日本沙漠学会の役員改選の年度となります。そこで、「日本沙漠学会会則・細則・内規」に従いまして、新規評議員候補者の推薦をお願いいたします。推薦に関わる要領を以下に掲載いたしましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 被推薦者の資格：日本沙漠学会正会員であり、2020・2021・2022 年度の評議員でない者
下記 [参考]、および送付される名簿を参照のこと
2. 記載事項：送付される用紙に以下の＜様式-1＞に従い記入
3. 締切：11 月 30 日（水）必着
4. 送付先：〒 156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学国際食料情報学部国際食農学科内
日本沙漠学会選挙管理委員会 篠原 卓 宛

＜様式-1＞

次期評議員候補者の推薦

①被推薦者氏名 会員 ID

(5 名以内連記可)

②推薦者氏名 同連絡先住所 email アドレス 電話番号

(自筆・押印)

[参考] 現評議員

安部 豊	石川祐一	入江光輝	牛木久雄	川端良子	北村義信	小島紀徳
児玉香菜子	小長谷有紀	酒井裕司	真田篤史	篠原 卓	島田沢彦	菅沼秀樹
鈴木伸治	高橋新平	田島 淳	田中 徹	豊田裕道	縄田浩志	平田昌弘
藤巻晴行	的場泰信	三木直子	森 卓	森尾貴広	矢沢勇樹	依田清胤
渡邊文雄	渡邊三津子					

学会賞審査委員会からのお知らせ 日本沙漠学会若手会員のみなさんへ

学会賞担当理事 渡邊 三津子
的場 泰信

日本沙漠学会では「奨励賞」「ベストポスター賞」を、若手研究者のみなさんを対象とした賞として設けています。

奨励賞

- 乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与されます。
※ 『沙漠研究』に掲載された論文や研究業績に基づき、自薦または学会員の推薦を受けて審査されます。
- 満35歳以下の若手会員、博士課程在籍者または博士課程修了後10年以内の会員を対象としています。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

ベスト ポスター 賞

- 研究内容、表現や説明技術、熱意などが優れているポスター発表に対して授与されます。
- 学術大会でポスター発表をする満35歳以下の学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の会員が対象となります。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

メリット① 自分の研究について知ってもらえる

受賞者の研究は、学術大会だけでなくホームページなどで紹介されるので自分の研究について多くの人に知ってもらえる機会になります。

メリット② 履歴書に書ける

「奨励賞」「ベストポスター賞」をもらったら、履歴書の賞罰の欄に記載できるので、就職活動にも役立ちます。

日本沙漠学会に所属する若手会員の皆さん
全員にチャンスがあります！

学術大会で発表した人は、ぜひ
『沙漠研究』に論文を投稿しましょう！

2022 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 森尾 貴広
学会賞審査委員会委員長 渡邊三津子

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞，学術論文賞，進歩賞，奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領で推薦（奨励賞については推薦または自薦）下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的，実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は、当該年度において 35 歳以下の会員，博士課程在籍者または博士課程修了後 10 年以内の会員とする。

2. 推薦期限 **2023 年 2 月 28 日（火） 当日消印有効**

3. 推薦方法

以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお奨励賞のみ，推薦に加えて自薦も可としますが，その場合には，本人の業績について照会可能な 2 名以上の所属・連絡先を添付してください。

(1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合

様式 1 の推薦書 1 部
推薦に関する資料 1 組

(2) 日本沙漠学会学術論文賞を推薦する場合

様式 2 の推薦書 1 部
推薦に関する業績 1 組

(3) 日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合

様式 2 の推薦書 1 部（または，様式 3 の自薦書）
推薦・自薦に関する業績 1 組

4. 宛先（照会先）

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F
日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 的場泰信
E-mail : matobaji@icloud.com

5. その他

応募された書類は返却しませんので，必要な場合は写しを保管下さい。

なお，過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ（<http://www.jaals.net/>）をご参照下さい。

様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用) 令和 年 月 日

日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用) 令和 年 月 日

日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

著者名（共著の場合は全員）、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

様式 3

(日本沙漠学会奨励賞用) 令和 年 月 日

日本沙漠学会奨励賞自薦書

1. 自薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 自薦者の業績について問い合わせ可能な照会者
照会者 1 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
照会者 2 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：

※ 照会者が 2 名以上いる場合には、適宜様式をコピーして記入してください。

3. 自薦業績 題目：
4. 自薦業績に関する資料リストなど
著者名（共著の場合は全員）、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

-----記入上の注意-----

- 1) 書 式 A4 縦置横書き, 明朝体 12 ポイント, 上下左右マージン 2.0 cm 以上, 1 行文字数 35~40 字, 1 ページ行数 35~40 行
- 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい.
- 3) 推薦理由 箇条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい.
箇条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい.
- 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合 5. 資料はコピーなどを添付して下さい.
- 5) 様式 2,3 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合 5. 業績リストは研究業績の別刷り(コピー可)を添付して下さい.

学会記事

日本沙漠学会第 154 回理事会

日 時：2022 年 7 月 16 日（土）14：00～15：30

場 所：Web 会議

出 席：森尾貴広（会長）、鈴木伸治、田中徹（以上、副会長）、渡邊文雄、豊田裕道（以上、監事）、矢沢勇樹、小島紀徳、渡邊三津子、石川祐一、的場泰信、田島淳、島田沢彦（以上、理事）、安部征雄、森卓（以上、顧問）、酒井裕司（副編集委員長）、真田篤史（以上、総務委員）、齋藤哲治（事務局）
オブザーバ：篠田雅人・甲野耀登（秋季シンポジウム実行委員長・幹事）

委任状：高橋新平、川端良子

議 題：

I. 審議事項

1. 乾燥地農学分科会から交付金の申請について
 - ・乾燥地農学分科会の石川分科会会長から、今年度の講演会開催（11 月 9 日の予定）費用として交付金の申請があり、審議の結果承認された。
 - ・矢沢財務理事から、他の分科会についても計画があれば交付金を申請するよう依頼があった。また、可能であれば理事会で審議し、承認を得るよう要望があった。
2. 日本青年モンゴル植樹交流団推薦（日中友好会館）について
 - ・森尾会長から、9 月 26 日～30 日にモンゴルで植樹等の活動を行う日本青年モンゴル植樹交流団員の推薦について説明があった。
 - ・メーリングリストで会員に推薦依頼をした結果、2 名の推薦があったが、2 名とも日本沙漠学会の非会員であったため、入会を条件に派遣することが承認された。
 - ・また、森尾会長から、学会として推薦して採択された際には、帰国後に報告書（おあしすや沙漠研究の小特集など）を提出してもらい、会員に情報共有する案が示された。
 - ・審議の結果、日本沙漠学会への入会を条件として 2 名を推薦することが承認された。
3. 選挙管理委員会立ち上げ（役員選挙）
 - ・2023 年度からの評議員および役員の選挙の流れについて森尾会長から説明があった。
 - ・森尾会長から、選挙管理委員会委員長として島田総務担当理事が指名され、承認された。今後、島田委

員長が 4 名の選挙管理委員候補者を会員の中から選出し、最終的に会長が指名する。

II. 報告事項

1. 2022 年度総会について
 - ・森尾会長および島田総務担当理事から、2022 年度総会について報告された。
 - ・総会は、6 月 11 日に足寄で行われた第 33 回学術大会の際に開催され、定足数に達し、すべての議題について承認された。
2. 2022 年度第 33 回学術大会／会計報告について
 - ・島田総務担当理事から、第 33 回学術大会について報告された。
 - ・久々の対面発表も含めたハイブリッド型の大会で、モンゴル、中国、ジブチ、オーストラリアなど様々な地域を対象とした研究口頭報告が行われた。また、ポスター発表や公開シンポジウム、エクスカッションや懇親会なども行われた。
 - ・事務局から会計報告が行われ、適正に執行されたことが報告された。
3. 投稿論文審査状況報告
 - ・酒井副編集委員長から、投稿論文の審査状況について報告があった。
 - ・現在、審査中の原著論文は 1 件である。沙漠研究 32 巻 1 号については、原著論文 1 件と小特集が公開済みである。また、DT14 の proceedings 号の進捗状況についても説明があった。
 - ・第 33 回学術大会時の公開シンポジウムの内容について、小特集化することを学術大会委員長の星野会員を通じて依頼する予定である。
4. おあしす 32 巻 1 号について
 - ・島田総務担当理事から 32 巻 1 号の編集状況について報告された。第 33 回学術大会、総会、秋季シンポジウムや DT15 のアナウンスなどに関する記事が掲載される。
5. DT-XV (ICAL) について
 - ・森尾会長から、6 月 3 日～6 日（日本沙漠学会第 34 回学術大会（宮崎）の後）にヨルダンで開催されることが報告された。
6. ベストポスター賞受賞者の Web 公開について
 - ・渡邊三津子学会賞担当理事から、歴代のベストポスター賞の受賞者情報を HP に掲載することが説明された。
 - ・過去のベストポスター賞受賞者情報を整理し、大会の開催場所、年度、受賞者のその時の所属などについて

明記することとなった。

7. 秋季シンポジウムについて

- ・シンポジウムの篠田実行委員長から、シンポジウムの準備状況等について説明があった。
- ・シンポジウムのタイトルは「遊牧を考える－過去・現在・未来」で、10月15日（土）にオンラインと対面のハイブリッド形式での開催が予定されており、対面の会場はレクトーレ湯河原で行われる。湯河原駅から送迎バスが出ており、宿泊も可能である。
- ・宿泊希望人数を把握する必要があるため、8月中旬に実行委員会側で申し込みフォーム案を作成し、学会 HP 等で会員に案内する。
- ・森尾会長から、最近再度コロナウイルスの感染者数が増加しているが、開催形態の最終的をいつ決定するか質問があった。篠田実行委員長から、現時点では開催方法を変更する予定は考えておらず、少なくとも発表者と海外からの招へい者は対面で参加することが説明された。また、その他参加者については、オンラインでの参加も可能とすることが説明された。今後、会場側とも相談し、8月末頃には見通しを立てる予定である。
- ・学会からは10万円を預託金として支出し、アルバイト学生へのアルバイト代の支払いに充てられることが説明された。

8. その他

- ・矢沢財務担当理事から、3点報告があった（①②については会計監査の際に監事から指摘）。
 - ①会員の動向について理事会で随時報告すべきであると提案された。現時点で、今年度は5名（正会員2名、学生会員3名）が入会し、2名（正会員1名、学生会員1名）が退会した。
 - ②予算の執行状況についても理事会で随時報告すべきであると提案された。現時点では、正会員の会費納入状況が半分以下なので、会費納入について会員に連絡をする。学生会員の中には、学術大会で発表するために入会し、卒業後に退会手続きをしていないケースもある。森尾会長から、このようなケースに対しては、卒業前にステータスの確認、継続の確認を行えないか検討するよう財務担当理事へ依頼が

あった。

- ③分科会への交付金の支出額は、現時点では分科会間で相違があるため、今後は交付金配分のバランスなどを検討する必要がある。

Ⅲ. その他

1. zoom 契約金の支払いについて

- ・コロナ禍において理事会等のオンライン化が進んだが、その初期段階において鈴木副会長が zoom の契約を行い、契約料金を立て替えていたため、鈴木副会長からその契約料金の精算依頼があった。なお、現在は事務局である株式会社共立の zoom を使用しており、予算額の追加は必要ない。審議の結果、鈴木副会長への清算は承認された。

2. 今後の学術大会・シンポジウムの日程・開催地および開催形式の確認

- ・2022 年度共催秋季シンポジウム（レクトーレ湯河原：10/15）
- ・DT-XV（2023/6/3-5）（2023/5/27-28）
- ・2023 年度学術大会：宮崎大学（2023/5/27-28）
- ・2023 年度秋季シンポジウム（沙漠工学分科会担当・東農大開催）

3. その他事業の日程

- ・選挙管理委員会開催（おしす 32 巻 2 号に告知を掲載予定）
- ・評議員選挙（2022 年 10-11 月）

4. その他

- ・矢沢財務担当理事から、会員減少に対し、学会として現在どのような対策が行われているか質問があった。森尾会長から、議論はこれまでしてきたが最近中断しているため、改めて検討委員会を立ち上げて対策を行う必要があることが説明された。矢沢財務担当理事から、分科会を通じた広報や、会員としての特典の充実などが提案された。森尾会長から、まずは財務、企画、学会賞および編集（適宜総務も）の担当理事で意見交換を行うよう依頼があった。

- 5. 第 155 回理事会は、2022 年 10 月 8 日（土）14 時から zoom で開催予定である。

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

学生会員

加藤 康太 (ID : 1168, 東京農業大学大学院)

加藤 祥之 (ID : 1169)

●退会会員

学生会員

橋本 裕紀

佐藤 拓己

賛助会員・団体会員名簿

アースアンドヒューマンコーポレーション

194-0041

町田市玉川学園 8-3-23

Tel : 042-710-7661

株式会社ウイジン

158-0097

世田谷区用賀 2-12-14

Tel : 03-3700-0531

NTC インターナショナル株式会社

136-0071

東京都江東区亀戸 1-42-20

Tel : 03-6892-3401

株式会社大林組技術研究所

204-8558

清瀬市下清戸 4-640

Tel : 0424-95-1060
